

Minami Kyushu University Syllabus						
シラバス年度	2023年度	園講キャンパス		都城キャンパス		
科目名称	東洋庭園学特論 I			実務経験	○	Active・L ○
科目コード	642511	単位数	2単位	学位授与方針との関連	DP1	
教員氏名	関西 剛康					
授業概要	<p>東アジアにおいてある意味、各時代と各地域、各利用者の理想郷を表現した庭園文化は、中国大陸で発展して朝鮮半島へと広がり、そして日本へと伝来した。そして、日本の歴史のなかでも発展を続けて現在に至っている。授業では、東アジア圏における日本の庭園文化を取り上げ、その歴史や変遷から、その成立背景となる思想文化や社会状況の理解を深め、高度な専門的知識の修得を図る。</p> <p>教員は、技術士（総合技術監理部門、建設部門〔都市及び地方計画〕）や登録ランドスケープアーキテクト（RLA）等の有資格者であり、実務として造園コンサルタントの設計事務所にて20年にわたって国内外の100件を超える都市公園や庭園プロジェクトに参画したキャリアを有する。また、教員は文化庁文化審議会専門委員、宮崎県美しい宮崎づくり推進有識者会議長、宮崎県景観まちづくりアドバイザー、宮崎市花のまちづくりコンクール審査委員長、宮崎グリーンインフラ研究会会長などの職務経験も豊富である。授業では、実際に計画設計したランドスケープや先進事例を紹介しながら行う。</p>					
関連する科目	本授業の履修前には造園計画特論Ⅰ、本授業の履修と同時に造園計画特別演習、本授業の履修後に東洋庭園学特論Ⅱ、造園計画特論Ⅱを受講することが望ましい。					
授業の方法と進め方	<p>基本的に授業は、アクティブラーニング方式によって実施する。</p> <p>毎回の授業構成は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業前半は、講義を行う【学術・知識のインプット】 2. 授業後半は、グループ学習・ディスカッションや課題発表（問題解決学習・プレゼンテーション）等を行う【学術・知識の醸成とアウトプット】 					
授業計画	<p>第1回：序論：造園計画特論Ⅱの概要説明と心得を行う。</p> <p>第2回：Chapter-1 古代日本の庭園：古代国家の形成・発展と庭園文化（飛鳥時代の庭園文化（国家統一における庭園の役割）について学ぶ）</p> <p>第3回：Chapter-1 古代日本の庭園：古代国家の形成・発展と庭園文化（奈良時代の庭園文化（国家の政における庭園利用）について学ぶ）</p> <p>第4回：Chapter-1 古代日本の庭園：古代国家の形成・発展と庭園文化（平安時代前期の庭園文化（貴族政治とその文化における庭園の形成）について学ぶ）</p> <p>第5回：Chapter-1 古代日本の庭園：古代国家の形成・発展と庭園文化（平安時代後期の庭園文化（貴族文化の繁栄と国風文化としての庭園）について学ぶ）</p> <p>第6回：Chapter-2 中世日本の庭園：貴族・仏教・武家による庭園文化の多様化（鎌倉時代前期の庭園文化（貴族と武家社会による庭園）について学ぶ）</p> <p>第7回：Chapter-2 中世日本の庭園：貴族・仏教・武家による庭園文化の多様化（鎌倉時代末期の庭園文化（貴族文化の再興と衰退、そして鎌倉仏教の影響）について学ぶ）</p> <p>第8回：Chapter-2 中世日本の庭園：貴族・仏教・武家による庭園文化の多様化（室町時代前期の庭園文化（武家社会の台頭と禅宗文化と北山文化による影響）について学ぶ）</p> <p>第9回：Chapter-2 中世日本の庭園：貴族・仏教・武家による庭園文化の多様化（室町時代後期の庭園文化（応仁の乱後の東山文化による影響）について学ぶ）</p> <p>第10回：Chapter-2 中世日本の庭園：貴族・仏教・武家による庭園文化の多様化（安土桃山時代の庭園文化（佻び寂びと豪華爛爛な庭園文化との対比）について学ぶ）</p> <p>第11回：Chapter-3 近世日本の庭園文化：総合化と深化する庭園文化の形成（江戸時代前期の庭園文化（幕藩体制下における大名庭園の発展）について学ぶ）</p> <p>第12回：Chapter-3 近世日本の庭園文化：総合化と深化する庭園文化の形成（江戸時代後期の庭園文化（幕藩体制下における庭園文化の醸成）について学ぶ）</p> <p>第13回：Chapter-4 近代日本の庭園文化：近代国家形成における新たな利用（明治・大正期の庭園文化（近代国家の形成下における庭園文化の革新）について学ぶ）</p> <p>第14回：Chapter-4 近代日本の庭園文化：近代国家形成における新たな利用（昭和・平成・令和期の庭園文化（国際化する日本の庭園文化）について学ぶ）</p> <p>第15回：総括：日本の庭園文化の総括と纏め（東アジア圏のなかでの日本の庭園文化の特徴と位置づけについて学ぶ）</p>					
授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 東アジアの庭園の基本概念・歴史性について理解する【基礎的知識の習得】 2. 東アジアの庭園の自然感・空間性の要素について把握する【基礎的知識の習得】 3. 東アジアの庭園の植物・石・水・建築物などの要素の役割とデザイン手法を学ぶ【基礎的知識の習得】 4. 東アジアの庭園の役割・用途・作庭意図・文化的背景などの諸問題について考える【基礎的知識の習得】 5. 東アジアの庭園に関連する文献や研究成果に触れ、批評的思考力を身につける【自己管理能力・生涯学習力】 					
授業時間外の学修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 東アジアの庭園の基本概念・歴史性について理解する【基礎的知識の習得】 2. 東アジアの庭園の自然感・空間性の要素について把握する【基礎的知識の習得】 3. 東アジアの庭園の植物・石・水・建築物などの要素の役割とデザイン手法を学ぶ【基礎的知識の習得】 4. 東アジアの庭園の役割・用途・作庭意図・文化的背景などの諸問題について考える【基礎的知識の習得】 5. 東アジアの庭園に関連する文献や研究成果に触れ、批評的思考力を身につける【自己管理能力・生涯学習力】 					
課題に対するフィードバック	レポートは評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説をします。		評価方法・基準		発表・研究した内容に関するレポート（100点）	
テキスト	テキストは使用しないが、その代わりに適宜プリント資料を配布する。					

参考書	1. 『ランドスケープ研究』日本造園学会 2. 『ランドスケープ研究作品集』日本造園学会 3. 『ランドスケープデザイン』マルモ出版 など
備考	造園計画研究室（関西研）における研究領域の概要は以下の通りである。まずは、SDGs（持続可能な開発目標）を基本に、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりを進める「グリーンインフラ」の視点に立ち、地域活性化や持続可能な都市経営を考えたランドスケープについて研究している。例えば、地域の課題解決型をテーマに、実際にフィールドワークによって現状の課題